

平成31年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年12月14日

上場会社名 MICS化学株式会社
 コード番号 7899 URL <http://www.c-mics.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大塚 茂樹
 (氏名) 原 正常
 配当支払開始予定日

TEL 0561-39-1211
 平成31年1月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第2四半期の連結業績(平成30年5月1日～平成30年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第2四半期	1,250	△0.0	29	△16.7	31	△14.8	20	△22.5
30年4月期第2四半期	1,251	△0.1	35	△43.7	37	△45.5	26	△22.1

(注) 包括利益 31年4月期第2四半期 19百万円 (△29.5%) 30年4月期第2四半期 28百万円 (△39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第2四半期	3.96	—
30年4月期第2四半期	5.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年4月期第2四半期	3,830	3,194	83.4	609.64
30年4月期	3,826	3,200	83.6	610.85

(参考) 自己資本 31年4月期第2四半期 3,194百万円 30年4月期 3,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期	—	5.00	—	5.00	10.00
31年4月期	—	5.00	—	—	—
31年4月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,637	5.0	97	5.2	103	3.4	72	1.9	13.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年4月期2Q	5,850,000 株	30年4月期	5,850,000 株
② 期末自己株式数	31年4月期2Q	610,606 株	30年4月期	610,606 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年4月期2Q	5,239,394 株	30年4月期2Q	5,239,394 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、相次ぐ自然災害や、米国の通商政策、原油価格情勢など、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは新規顧客開拓活動を進め、特に非食品分野の開拓に注力しました。その結果、非食品分野の売上高は増加したものの、食品分野の売上高が減少したことから、売上高は12億50百万円（前年同四半期比0.0%減）となりました。

利益につきましては、全社挙げてのコストダウンに取り組んでおりますが、原油・ナフサ市況が前年に比べて上がったことによる原材料単価の上昇や全国的な運送運賃の値上げ等により、営業利益は29百万円（前年同四半期比16.7%減）となりました。また、経常利益は31百万円（前年同四半期比14.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同四半期比22.5%減）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野は、介護食・宅配食など惣菜用途への拡販が進むと共に、カット野菜など農産用途及び規格袋の販売は増加しましたが、水産用途が漁獲高の減少から伸び悩み、畜産用途では大口需要先の受注が減少したことから、売上高は7億25百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

一方、非食品分野では、産業用途として自動車向けでの新たな採用や機械部品包装で大手メーカーへの新規採用が決まったこと、されには継続取引先の需要増等により、売上高は2億84百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

商品等につきましては、突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）が減少により、売上高は2億40百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における流動資産は23億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が46百万円増加したものの、有価証券が3億円減少したこと等によるものであります。

固定資産は15億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が3億円増加したものの、建物及び構築物が10百万円、機械装置及び運搬具が20百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、38億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は6億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が30百万円増加したものの、その他が27百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は32百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、6億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産合計は31億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円、剰余金の配当26百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、13億88百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億11百万円となりました。

これは税金等調整前四半期純利益31百万円、減価償却費51百万円、仕入債務の増加額30百万円等があったものの、たな卸資産の増加額17百万円、未払金の減少額8百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は34百万円となりました。

これは有形固定資産の取得による支出33百万円、投資有価証券の取得による支出3億1百万円があったものの、有価証券の償還による収入3億円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は30百万円となりました。

これは短期借入金の減少額2百万円、配当金の支払額26百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年 6 月14日の「平成30年 4 月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,342,244	1,388,375
受取手形及び売掛金	621,993	608,184
電子記録債権	123,696	119,105
有価証券	300,196	—
商品及び製品	90,429	88,382
仕掛品	31,667	45,368
原材料及び貯蔵品	40,287	45,962
その他	19,281	10,923
貸倒引当金	△2,002	△2,042
流動資産合計	2,567,796	2,304,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	314,480	304,379
機械装置及び運搬具(純額)	211,542	190,844
土地	634,701	634,701
その他(純額)	29,213	24,950
有形固定資産合計	1,189,939	1,154,876
無形固定資産	727	542
投資その他の資産		
投資有価証券	35,079	335,334
その他	33,662	35,017
貸倒引当金	△457	—
投資その他の資産合計	68,284	370,351
固定資産合計	1,258,951	1,525,771
資産合計	3,826,747	3,830,032

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成30年 4 月 30 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,686	447,731
短期借入金	20,000	18,000
未払法人税等	10,386	18,956
その他	145,832	118,741
流動負債合計	593,905	603,430
固定負債		
役員退職慰労引当金	11,642	13,228
退職給付に係る負債	728	1,013
資産除去債務	10,500	10,500
その他	9,480	7,728
固定負債合計	32,351	32,470
負債合計	626,257	635,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,924,493	1,919,054
自己株式	△263,394	△263,394
株主資本合計	3,585,409	3,579,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,613	1,694
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
その他の包括利益累計額合計	△384,919	△385,839
純資産合計	3,200,489	3,194,131
負債純資産合計	3,826,747	3,830,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 5 月 1 日 至 平成29年10月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成30年 5 月 1 日 至 平成30年10月31日)
売上高	1,251,228	1,250,637
売上原価	824,705	864,549
売上総利益	426,523	386,088
販売費及び一般管理費	391,263	356,712
営業利益	35,260	29,375
営業外収益		
受取利息	1,077	333
受取配当金	649	698
受取補償金	—	2,099
その他	1,488	407
営業外収益合計	3,214	3,539
営業外費用		
支払利息	183	130
売上割引	722	771
その他	0	23
営業外費用合計	906	925
経常利益	37,568	31,989
税金等調整前四半期純利益	37,568	31,989
法人税、住民税及び事業税	7,302	9,175
法人税等調整額	3,491	2,056
法人税等合計	10,793	11,231
四半期純利益	26,774	20,757
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,774	20,757

(四半期連結包括利益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 5 月 1 日 至 平成29年10月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成30年 5 月 1 日 至 平成30年10月31日)
四半期純利益	26,774	20,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,355	△919
その他の包括利益合計	1,355	△919
四半期包括利益	28,130	19,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,130	19,838

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年5月1日 至 平成30年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	37,568	31,989
減価償却費	50,444	51,018
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,163	1,585
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,427	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,479	△417
受取利息及び受取配当金	△1,726	△1,032
支払利息	183	130
売上債権の増減額(△は増加)	60,591	18,399
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,875	△17,328
仕入債務の増減額(△は減少)	15,258	30,045
未払金の増減額(△は減少)	17,133	△8,116
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,978	7,251
その他	42,071	3,790
小計	112,602	117,317
利息及び配当金の受取額	2,297	2,347
利息の支払額	△183	△130
法人税等の還付額	—	2,922
法人税等の支払額	△29,518	△11,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,197	111,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△37,127	△33,217
投資有価証券の取得による支出	—	△301,195
有価証券の償還による収入	—	300,000
その他	174	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,953	△34,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△2,000
配当金の支払額	△31,396	△26,233
その他	△2,753	△2,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,149	△30,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,094	46,131
現金及び現金同等物の期首残高	1,338,796	1,342,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,352,890	1,388,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。